

# 僧帽弁閉鎖不全症に対する 小切開内視鏡下手術 (MICS)

～早期社会復帰をめざす低侵襲手術～

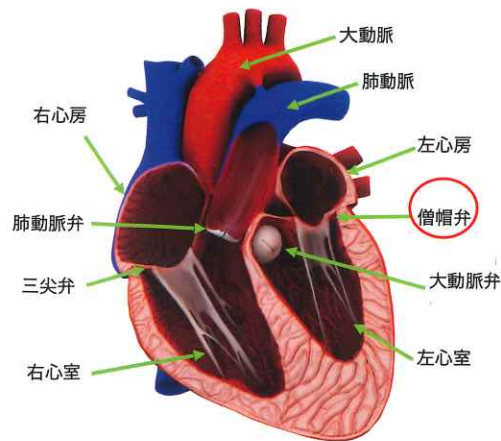


心臓外科

## 有村 聡士

僧帽弁は左心房と左心室の間にある逆流防止弁（扉）です。この弁の閉まりが悪くなり、心臓内を血流が逆流してしまうことを僧帽弁閉鎖不全症といいます。

病初期は自覚症状がないことが多いのですが、進行すると心臓への負担が大きくなり、動悸や息切れといった症状がでます。どの年代でも発症することがあり、心雑音などをきっかけに診断されることがあります。



## 3D内視鏡を用いて MICS を行います。

MICS とは体への負担が少ない手術法のことです。

当院の MICS での主な傷は右脇腹に4センチのみ（右図）であり、従来の開胸手術と比較し痛みや出血が少なく、術後の回復が早いのが特徴です。傷が小さく目立たないこともメリットの一つです。当院では3D内視鏡による4K映像を用いることで、より小さな傷からクオリティを維持した手術をおこなっています。



心雑音や弁膜症を指摘された方は、ぜひ詳しく検査を受けていただき、手術が必要かどうか、MICS で治療可能かどうかお気軽にご相談ください。



JIKEI VIDEOS

### 動画概要

僧帽弁閉鎖不全症に対する小切開内視鏡下手術について

心臓外科 有村 聡士 医師

詳細については、QRコードを読み取り動画をご視聴ください。



YouTube